

【Jp】 R3D NE 撮影時のISO 感度別ゼブラ表示推奨設定値について

動画撮影メニュー [動画記録ファイル形式] を [R3D NE 12-bit (R3D)] に設定して撮影画面にゼブラ表示する場合、必ずカスタムメニュー g16 [ゼブラ表示] で検出する範囲の輝度を設定してください。 [ゼブラ表示の検出モード] の [中間輝度] および [高輝度] に設定した場合の推奨値は次の表の通りです。推奨値はカスタムメニュー g15 [3D LUT] の設定によっても異なります。

- 動画撮影メニュー [ISO感度設定] > [ベースISO感度] を [低感度] に設定した場合：

動画撮影メニュー [ISO感度設定] > [ISO感度] (ベースISO : 800)	g16 [ゼブラ表示] > [中間輝度検出の範囲] > [基準値] の推奨値 ^{※1}		g16 [ゼブラ表示] > [高輝度検出の範囲] の推奨値	
	g15 [3D LUT] が [OFF] の場合	g15 [3D LUT] が [ON] の場合 ^{※2}	g15 [3D LUT] が [OFF] の場合	g15 [3D LUT] が [ON] の場合 ^{※2}
200	85	110	145	230
220	85	110	150	230
250	85	110	150	235
280	85	110	155	235
320	85	110	160	235
360	85	110	160	235
400	85	110	165	240
450	85	110	165	240
500	85	110	170	240
560	85	110	170	240
640	85	110	175	245
720	85	110	180	245
800	85	110	180	245
900	85	110	185	245
1000	85	110	185	245
1100	85	110	190	245
1250	85	110	190	250
1400	85	110	195	250
1600	85	110	200	250
1800	85	110	200	250
2000	85	110	205	250
2200	85	110	205	250
2500	85	110	210	250
2800	85	110	210	250
3200	85	110	215	250

※1 18% グレーで露出を決定している場合

※2 カメラに初期設定で保存されている [REC.709] LUT 使用時


- ・ 動画撮影メニュー [ISO感度設定] > [ベースISO感度] を [高感度] に設定した場合：

動画撮影メニュー [ISO感度設定] > [ISO感度] (ベースISO：6400)	g16 [ゼブラ表示] > [中間輝度検出の範囲] > [基準値] の推奨値 ^{※1}		g16 [ゼブラ表示] > [高輝度検出の範囲] の推奨値	
	g15 [3D LUT] が [OFF] の場合	g15 [3D LUT] が [ON] の場合 ^{※2}	g15 [3D LUT] が [OFF] の場合	g15 [3D LUT] が [ON] の場合 ^{※2}
1600	85	110	145	230
1800	85	110	150	230
2000	85	110	150	235
2200	85	110	155	235
2500	85	110	160	235
2800	85	110	160	235
3200	85	110	165	240
3600	85	110	165	240
4000	85	110	170	240
4500	85	110	170	240
5000	85	110	175	245
5600	85	110	180	245
6400	85	110	180	245
7200	85	110	185	245
8000	85	110	185	245
9000	85	110	190	245
10000	85	110	190	250
11400	85	110	195	250
12800	85	110	200	250
14400	85	110	200	250
16000	85	110	205	250
18000	85	110	205	250
20000	85	110	210	250
22800	85	110	210	250
25600	85	110	215	250

※1 18%グレーで露出を決定している場合

※2 カメラに初期設定で保存されている [REC.709] LUT 使用時

☑ [R3D NE 12-bit (R3D)] 選択時の設定について

- ・ [動画記録ファイル形式] を [R3D NE 12-bit (R3D)] に設定する場合、撮影モードは M (マニュアル) に設定することをおすすめします。撮影モードが  (オート) の場合、[R3D NE 12-bit (R3D)] に設定できません。
- ・ 動画撮影メニュー [ヴィネットコントロール] は [しない] に設定することをおすすめします。

ヒント：R3D NE撮影時の輝度情報の表示について

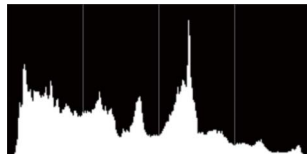
[R3D NE 12-bit (R3D)] に設定した場合、階調モードがLog3G10に固定されます。Log3G10は撮影後のカラーグレーディングを前提とした広いダイナミックレンジを目的とするガンマカーブのため、通常とは異なる露出制御となります。画像モニターに輝度情報を表示している場合、同じ被写体を撮影していても [R3D NE 12-bit (R3D)] とその他の記録形式では輝度情報の表れ方が異なります。輝度情報は、カスタムメニュー g19 [輝度情報の種類] で [ヒストグラム] または [ウェーブフォームモニター] から選べます。

- ・ [ヒストグラム] に設定している場合：

輝度差の少ない被写体を撮影した場合、ヒストグラムの左側半分程度に圧縮して記録されることが多くなり、ヒストグラムの右側の場所の表示頻度は低くなります。



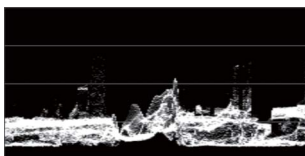
[R3D NE 12-bit (R3D)] 撮影時



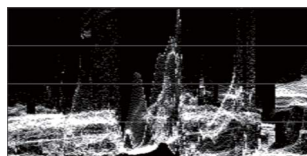
[R3D NE 12-bit (R3D)] 以外での撮影時

- ・ [ウェーブフォームモニター] に設定している場合：

輝度差の少ない被写体を撮影した場合、下側半分程度に圧縮して記録されることが多くなります。ハイライトリミットの位置は、最上部から変更されます。



[R3D NE 12-bit (R3D)] 撮影時



[R3D NE 12-bit (R3D)] 以外での撮影時